

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 20 日現在

機関番号：32403

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24501204

研究課題名(和文) eポートフォリオ間関係構造によるキャリア教育運用モデルと支援システムの開発

研究課題名(英文) The career education operation model by the relations between e portfolios and the development of the supporting system

研究代表者

栗田 るみ子 (Kurita, Rumiko)

城西大学・経営学部・教授

研究者番号：60383171

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究ではeポートフォリオ間関係構造によるキャリア教育運用モデルと支援システムの開発を進めた。eポートフォリオは、学生が蓄積するテキストデータを相互に閲覧することが可能となる。また、eポートフォリオ運用モデルは城西大学におけるモバイル端末を活用したキャリア教育支援(JWEST)のデータと同時に活用した。

JWESTのねらいは、就職課職員と学部の教職院との連携を強化するとともに、各学生の就職活動状況などの情報を共有し、必要な支援、指導を即時に提供するなど、学生に対するきめ細やかな就職支援を図ることができ、個に合った支援へ近づけることができた。

研究成果の概要(英文)：The career education operation model by the relations between e portfolios and the development of the supporting system were advanced in the present study. E portfolio can inspect the text data that the student accumulates mutually. And e portfolio operation model was used simultaneously with the data of JWEST. A career support Web system called Jwest was developed to help our university place students on a career path. Jwest keeps two kinds of records on each student : activity records and job hunting records. These records include the courses students took, their scores, extracurricular activities, and their job hunting experience (applications, examinations, interviews, results, etc.). Jwest keeps professors and career office updated on the job hunting situation of each student. This enables professors and career office staff to provide proper support, advice, and introduction of suitable carrier paths to each student. The support that adjusted to student's individuality was achieved.

研究分野：キャリアポートフォリオ

キーワード：ポートフォリオ キャリア支援

1. 研究開始当初の背景

我が国の大学においては、学生の社会的・職業的自立に必要な資質能力の涵養のための指導(キャリア・ガイダンス)が義務化され、そのための教育課程や厚生補導を体系的に行うこととなっている。今日、大学でもeラーニングシステム導入の進展が著しいが、学生のキャリア支援においても、eポートフォリオ活用を目指した取り組みが広がりつつある。現在確認できている中でも国内30以上の大学が、キャリア支援のためのeポートフォリオの開発・運用に取り組んでいる。一方海外の大学では、生涯教育をまでも視野に入れたキャリア教育が始められている。これら国内外の大学の多くは、「キャリア・デザイン(目標の明確化)」が主眼となっているが、卒業後も含めた継続的な「キャリア形成(目標をつかむ努力の継続)」(生涯教育)の面では十分とは言えない。

いずれの大学においても、キャリアeポートフォリオの蓄積に主眼が置かれ、どのようなeポートフォリオをどのような時期に集め、それらをどのように活用することが相応しいのかといった、キャリア教育(特にキャリア形成)のための効果的なeポートフォリオの活用まで十分に議論されていないのである。

2. 研究の目的

そこで本研究では、キャリア教育のための効果的なeポートフォリオ運用モデルを開発し、そのモデルに則ったキャリア教育支援統合システムの開発を着手する。効果的なeポートフォリオ運用モデルには、長期的な活用までも考慮する必要がある。そのためには、eポートフォリオの蓄積時の場面や状況、活動、eポートフォリオの種類、関連するeポートフォリオ、活用目的など、eポートフォリオ間の関係構造を管理運用することが必須となる。また、利用者のキャリア学習が向上することを考慮すると、関係構造が利用者の能力に適応して動的に変化することが要求される。本研究では、上記eポートフォリオ間関係構造の構築とそれをういたキャリア教育運用モデルの開発を中心課題として、生涯教育までも対象としたキャリア教育支援統合システムの開発を目的とする。

目的を達成するために、期間内に以下の課題を実施する。

(1) キャリア教育のためのeポートフォリオの効果的な蓄積・活用を検討する。キャリア教育に必要なeポートフォリオをどんなタイミングで蓄積し、どんなタイミングでどのeポートフォリオを活用し、どんな振り返りを行うべきか、どんな活動をすべきかといった議論を行う。その結果、キャリア教育のためのeポートフォリオの種類やeポートフォリオ間の関係(eポートフォリオ間関係構造)が明らかになる。

(2) (1)の結果を用いた生涯学習まで考

慮したキャリア教育のためのeポートフォリオ運用モデルを開発する。

(3) (2)のモデルが運用できるような、eポートフォリオシステムを基盤としたキャリア教育支援統合システムを開発する。その際、学習支援環境などの既存システムとの統合も検討する。

(4) 上記開発システムの運用を通し、開発した運用モデルとシステムの評価を行い、改善に向け検討する。

国内で確認できているキャリア教育を進めている大学の多くは、「キャリア・デザイン」を支援するeポートフォリオシステムを開発・活用している。日本女子大の事例は、キャリア・デザイン機能としてのeポートフォリオを活用したシステムの構築という点で高く評価できる。また、金沢工業大学などの一部の大学では、「キャリア形成」までも視野に入れ、さらには授業情報やeラーニングシステムとの連携も進めている。しかしこれら研究は、卒業までの学生支援までにとどまっている。一方海外では、特に英国や米国などでさらに進んだ取り組みが実施されている。たとえば英国ニューカッスル大学では、卒業後も視野に入れた生涯学習にまで繋げている、学習支援環境との連携を図っている、雇用者側が望むスキル・態度を保証するエビデンスづくりを目指しているなど、特徴的な先進的な取り組みが実施されている。

このように国内外のキャリア教育の状況をみると、海外の取り組みは参考になる部分が多くあるが、国内外を通して以下のような問題点が存在する。

(問題点1) どのようなeポートフォリオをどのような時期に集め、それらをどのように活用することが相応しいのかといった検討が不十分であり、実行可能なキャリア教育のための要件が不明確である。それには、eポートフォリオ間の関係構造を明確にし、キャリア形成のための効果的な活用を議論する必要がある。関係構造の明確化はeポートフォリオの存在を明示化し、議論をし易くするなどの利点を持つ。

(問題点2) 学生にとってのキャリア形成は、単に就職先を決定した時点で完結するものではなく、生涯のキャリア人生を通して展開されるべきである。しかしながら多くの大学では卒業までしか視野にいれていないため、本来の意味でのキャリア形成ができる状況にない(生涯教育まで考慮されていない)。キャリア形成のためのeポートフォリオが、学生本人が卒業後も活用しうるものとなるためには、どのような体系的要件が必要であるのか検討が必要である。

(問題点3) 学習支援環境との連携が不十分であるため、雇用者側が望むスキル・態度を保証するエビデンスづくりが十分ではない。よって本研究では、実行可能なキャリア教育のためのeポートフォリオ間の関係構造を明確にした運用モデルを開発し、学習支援環

境を統合し生涯学習を考慮したキャリア教育支援環境の開発を行うこととした。

我々はこれまでに、就職支援のためのモバイル環境として、JWest (Josai Web Station) をGPの研究として開発・運用に取り組んできた。JWestは、教員・職員・学生の三者が個別の学生の就職活動状況に関する情報を共有できるキャリア支援カルテや、情報提供等必要な支援を個別的・即時的に提供できる機能を有し、学生に対するきめ細かな就職支援を図るものである。

JWestは三者の連携を図るツールとしての役割は十分にあるものの、キャリア教育の観点から考えると十分ではない。さらには、学生の修学情報や活動、成果物等の蓄積機能が備わっていないため、学習支援環境やeポートフォリオとの連携が重要となってくる。単純なデータ連携ではキャリア教育には繋がらないため、JWest、学習支援環境、キャリアeポートフォリオを基盤とした、キャリア教育支援のための統合システム、それを用いた運用モデル開発が重要となってくる。そこで本研究では、これらに着手することにし、GPの延長上の研究として位置付けている。

本研究の中心課題は、eポートフォリオ間の関係構造を明確にした運用モデルの開発である。キャリア教育の観点から、効果的なeポートフォリオの蓄積と活用を達成するために、eポートフォリオの蓄積状況、活用目的、状況、関連、ポートフォリオの種類など、関係構造を如何に構築するかが研究のポイントとなる。このように、本研究は、関係構造からeポートフォリオの活用を議論し運用モデルを開発することであり、独創性・新規性を主張するものである。

3. 研究の方法

以下の手順により、本研究を進める。

第1ステップ：キャリア教育を指向したeポートフォリオの効果的な蓄積・活用の分析

(1) 国内外のキャリア教育・標準化動向の調査

(2) キャリア教育に効果的なeポートフォリオ分析

(3) キャリア教育推進のためのeポートフォリオの確定

(4) eポートフォリオ間の関係構造構築

第2ステップ：キャリア教育推進するための運用モデルの開発

(5) 関係構造を用いたキャリア教育の活動の確定

(6) キャリア教育推進のための運用モデルの開発

第3ステップ：キャリア教育推進環境の開発

(7) キャリア教育用eポートフォリオシステムの設計・開発

(8) JWest、教育支援環境との連携によるキャリア教育支援統合システムの開発

第4ステップ：キャリア教育支援統合システ

ムによる実践・評価

(9) 上記の開発システムによるキャリア教育の実践・評価

(10) 論文執筆等の公開

4. 研究成果

本研究ではeポートフォリオ間関係構造によるキャリア教育運用モデルと支援システムの開発を進めた。eポートフォリオは、学生が蓄積するテキストデータを相互に閲覧することが可能となる。また、eポートフォリオ運用モデルは城西大学におけるモバイル端末を活用したキャリア教育支援(JWEST)のデータと同時に活用した。

JWESTのねらいは、就職課職員と学部の教職院との連携を強化するとともに、各学生の就職活動状況などの情報を共有し、必要な支援、指導を即時に提供するなど、学生に対するきめ細やかな就職支援を図ることができ、個に合った支援へ近づけることができた。

本研究の達成は、長期にわたる利用者の成果、スキルの向上、能力の保持などを保証するに留まらず、振り返ることからの自己学習が想起される支援をも含むことから、我が国が求めるキャリア教育の体系化と基盤作りに大いに寄与することと期待される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 2件)

柳下正和, 木内正光, 栗田るみ子; 城西大学経営学部紀要第9号, 学生の目線に立った情報技術1・2の改革, 2012年, P115-127

佐伯知美, 新井浅浩, 栗田るみ子, 草野素雄, 宮寺庸造; 城西大学経営学部紀要第10号, 英国の高等教育達成報告 HEAR について

ステアリング委員会報告ならびに導入ステアリング委員会報告(抄訳)を中心に, 2013年

〔学会発表〕(計 12件)

栗田るみ子: 日本教育メディア学会, 教職実践演習へ向けたデジタルファイルの再利用に関する研究, 2012/9

Kurita Rumiko, Kusano Motoo, Arai, Asahiro, Shoiti Nakamura, Miyadera Youzo: IADIS International Conference Applied Computing 2012, CAREEA EDUCATION SUPPORT UTILIZING MOBILE DEVICES, 2012/10

Hiroaki Kaminaga, Fumihiro Gotoh, Rumiko Kurita, Setuo Yokoyama, Youzo Miyadera: IADIS International Conference Applied Computing 2012, A SUPPORT SYSTEM FOR SHARING CONTEXTS OF TECHNICAL DOCUMENT CREATION IN COOPERATIVE SOFTWARE EXERCISE, 2012/10

田淵敬光, 草野素雄, 新井浅浩, 宮寺庸造, 栗田るみ子: キャリアeポートフォリオを活用した留学生に対する就職支援の有用性と限界, 日本教育メディア学会全国大会, 2013年
栗田るみ子, 草野素雄, 新井浅浩, 宮寺庸

造：教育改革 ICT 戦略大会（私情協），デジタルノートとキャリア支援システムの融合による学習成果の有効利用に関する研究，2013/9

栗田るみ子，新井浅浩，草野素雄：城西大学学長所管研究発表会，主体的学習へ向けたeポートフォリオに関する研究，2013/4

Kusano Motoo, Kurita Rumiko, Arai Asahiro, Miyadera Youzo : Widening ideas on careers in Japan-Korea KJ workshop through mutual direction distance education-using personal computer pull down function- Japan, Aug 8, 2013, International Conference for Media in Education: ICoMe2013, 2013/8

岡本覚子，栗田るみ子：日本教育工学会，協調学習における学生個人のパフォーマンス評価に関する実践報告，2014/9

栗田るみ子：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構職業リハビリテーション研究発表，コミュニケーションスキル育成とキャリアレディネスに関する実践報告，2014/12

栗田るみ子，草野素雄，新井浅浩，宮寺庸造：教育改革 ICT 戦略大会（私情協），主体的な学修を支援するキャリア支援サイトの活用，2014/9

栗田るみ子：城西大学学長所管研究発表会，Webサイトデザインのユーザビリティ調査 - PCとスマートフォンの利用による情報の差別化を中心に - ，2014/4

岡本覚子，栗田るみ子：情報処理学会，凸型学習モデルを目指した学習者の理解度計測に関する研究，2015/3

6. 研究組織

(1) 研究代表者

栗田るみ子（城西大学・教授）

研究者番号：60383171

(2) 研究分担者

宮寺庸造（東京学芸大学・教授）

研究者番号：10190802

新井浅浩（城西大学・教授）

研究者番号：80269357

草野素雄（城西大学・教授）

研究者番号：40177986